



2学期も1か月が過ぎようとしています



9月も下旬に入り、雨の日が増え、洗濯物がたまりがちになったり、シルバーウィークには台風に見舞われたりと、すっきりしない天候が続いています。

学校生活では、中間考査が終わったのも束の間、連休を挟んで実力テストが行われるなど、テストに囲まれた慌ただしい日々となりました。

次々と返ってくるテストの結果はどうだったでしょうか。今から終わったテストの点数を変えることはできませんが、これからの取り組みによって、次のテストの結果を変えることはできます。思うようにできなかった教科や内容を振り返り、できなかったところを見直して、次のテストに備えましょう。



生徒会役員選挙

鹿本中学校では、生徒会役員選挙が行われました。校内には候補者のポスターが掲示され、朝には校門の前で候補者が挨拶をする姿も見られました。立会演説会では、それぞれの候補者が公約や立候補にあたっての思いを、自分の言葉で熱く伝えていました。

難聴学級では、生徒が演説の内容をできるだけ正確に理解した上で、選挙に参加できるよう、事前に候補者の演説原稿を提供してもらい、文章を印刷して生徒に渡す支援を行っています。

今回は、体育館の放送機材が故障しており、マイクの音声音が音割れして聞き取りにくい状況でした。そのような場合でも、事前に配付した演説原稿を確認することで、聞き取りにくかった部分を補いながら、必要な情報を得ることができます。今後も、生徒が学校生活のさまざまな場面に主体的に参加できるよう、情報保障や環境面での支援を大切にしていきます。



聴力検査

中間考査の最終日の9月18日、筑波技術大学の名誉教授の先生をお招きし、難聴学級の生徒を対象に純音聴力検査を実施しました。定期的に聴力を確認することは、現在の聞こえの状態を把握し、必要な支援を考える上でも大切な機会となります。

学校の聴力検査室は、病院などの専門的な検査室と比べると防音性が十分ではないため、周囲の環境音などの影響を受けることがあります。そのため、オーディオグラム（聴力検査の結果）上では、普段の聞こえよりも聴力が低下しているように見られる場合があります。

今回の検査については、専門の先生から、環境音などの影響によるもので、実際の聴力そのものが低下しているわけではないとの説明をいただいていますので、ご安心ください。オーディオグラムと、先生の話をもとめた内容を保護者に向けて生徒に渡しております。詳細はそちらをご覧ください。

難聴学級ではこれからも、生徒一人一人の聞こえの状態や困り感に寄り添いながら、安心して学校生活を送ることができるよう支援していきます。

